

2019年度
事業計画書

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

公益社団法人日本ボート協会

2019年度事業計画

I 事業方針

2019年度においては、5月に念願の「海の森水上競技場」が完成し、6月に開催予定の「海の森水上競技場完成記念レガッタ」及び昨年度より本会並びに東京都ボート協会を主管として準備を進めてきた8月に開催予定の「2019世界ジュニア選手権大会」の成功、そして強化においては2020東京オリンピック・パラリンピックの出場権獲得を最重要事業と位置づける。

また昨年度統合したパラローイング事業も含め、本会の二大方針である「国際競技力の向上」、「ボート人口増大」を引き続き着実に実現する為、定款に定める以下の各事業を推進する。

1.「日本の地域社会でボート競技の普及を図る」に関する事業

普及プロジェクトにおける検討に基づき、パラローイングの普及も含め推進策を継続する。また、都道府県ボート協会並びに全国ボート場所在市町村協議会との連携をさらに強め、2020東京オリンピック・パラリンピック大会事前キャンプ誘致、及び物的・人的環境の整備を働きかけ、普及活動を強化していく。

2.「ボート選手の育成・強化を行い、競技力の向上を図る」に関する事業

2020東京オリンピック・パラリンピック大会におけるメダル獲得に向け、今年度世界選手権大会における出場権獲得を最重要課題として取り組む。加えて、2014年以降実施してきたタレント発掘育成事業を更に拡充し、ジュニアからシニアの一貫した国際競技力向上のための計画を推進し、ボートに適したタレントを有する選手の発掘と育成を継続する。また、3年目を迎えるJOCエリートアカデミー事業を継続する。

3.「ボートの全日本選手権大会及びこれに準ずる競漕会を開催する」に関する事業

今年度は従来個別に実施していた全日本軽量級選手権を全日本選手権に統合し春期に開催としたこと、並びに全日本ジュニアの休止により、昨年より2大会減の10大会を開催する。

4.「日本代表チームの役員と選手を選定し、国際競漕大会へ派遣する」に関する事業

今年度はシニア・U23においては2020東京オリンピック大会の出場権獲得を目標にそれぞれの世界選手権に、またジュニア（U19）においては国内開催となる2019世界ジュニア選手権大会派遣を中心に、海外合宿並びに国際競漕機会の増加を図る。

パラローイング種目においては、日本代表クルーを国際パラローイングレガッタに派遣し国際競漕機会の増加を図ると共に、2020東京パラリンピック大会の出場権獲得を目標に、2019世界選手権に派遣する。

5.「ボート競技の諸規則・諸規定の制定及び競技用具の審査と検定」に関する事業

ボートコースの新規・更新認定業務を都道府県協会、コース管理自治体等と協力して継続して行う。今年度は11コースについて更新認定業務を行う。また、国際競技力向上対策の一環として、本会競漕規則および関連諸規則・諸規定を2020年度に改定することを目標に取り組む。

6.「その他の重要な事業」

2021年度以降に向けた協会財政基盤強化を重点的に行うとともに、公益法人としての環境整備並びに更なるガバナンス強化を推進する。

1. 競技本部関係事業

(1) 競漕大会開催並びに競技者に関する事業

①競漕大会開催について

- ・今年度は主催大会として、以下の大会を開催する。

開催期日	大会名	開催地・コース
5月23日（木）～26日（日）	第97回全日本選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
6月1日（土）～2日（日）	第12回全日本マスターズレガッタ	大阪府高石市 府立漕艇センター
7月6日（土）～7日（日）	第69回全日本社会人選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
7月20日（土）～21日（日）	第39回全日本中学校選手権競漕大会	岐阜県海津市 長良川ボートコース
8月17日（土）～20日（火）	第67回全日本高等学校選手権競漕大会	熊本県菊池市 斑蛇口湖ボート場
9月5日（木）～8日（日）	第46回全日本大学選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
9月7日（土）～8日（日）	第59回オックスフォード盾レガッタ	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
10月4日（金）～7日（月）	第74回国民体育大会ボート競技会	茨城県潮来市 潮来ボートコース
10月25日（木）～28日（日）	第60回全日本新人選手権大会	埼玉県戸田市 戸田ボートコース
2020年 3月20日（金）～22日（日）	第31回全国高等学校選抜大会	静岡県浜松市 天竜ボート場

※全日本軽量級選手権については、全日本選手権大会に軽量級種目を含め統合する。

②全国マシンローイング大会開催

- ・今年度も全国各9ブロックのA大会及び20カ所を超えるB大会を開催する。
- ・2019年度大会の成績優秀者について、アジアインドア選手権大会に派遣する。

③競技団体及び競技者について

- ・競技者規定に基づき、2019年度の競技団体及び競技者の資格決定を行う。
- ・2019年度の競技団体、競技者登録を行うとともに、当該年度の登録状況を把握する。

(2) コース認定に関する事業

今年度は以下の更新認定と新たに申請のあったコースについてコース認定を実施する。

- ・2019年度更新認定コース

都道府県	コース名	級	距離（m）	認定期間
秋田県	大潟漕艇場	B	1,000	2018年10月25日迄
群馬県	城沼ボートコース	C	1,000	2019年5月8日迄
三重県	奥伊勢湖漕艇場	B	1,000	2019年5月8日迄
富山県	富山県漕艇場	B	1,000	2019年6月11日迄
岐阜県	長良川国際ボートコース	A	2,000	2019年7月1日迄
岡山県	百間川漕艇場	B	1,000	2019年7月15日迄
熊本県	斑蛇口湖ボート場	B	2,000	2019年7月16日迄

栃木県	谷中湖ボートコース	B	1,000	2019年7月18日迄
青森県	新田名部川ボートコース	C	1,000	2019年7月24日迄
山梨県	河口湖ボートコース	B	1,000	2019年7月24日迄
岐阜県	川辺ボートコース	B	1,000	2019年7月26日迄

(3) 海の森水上競技場整備に関する事業

- ・東京都オリンピック・パラリンピック準備局及び2020組織委員会と連携し、6月開催予定の海の森水上競技場完成記念レガッタ、8月開催予定の2019世界ジュニア選手権大会並びに2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた施設整備を継続実施する。

(4) 審判に関する事業

①審判業務

- ・今年度本会主催並びに主管大会に審判長はじめ審判員を派遣し、大会審判業務を行う。

②審判員養成事業

- ・審判員養成を目的に次の研修会と認定試験を行う。

研修会名称	開催時期	開催場所
第89回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	5月	埼玉県戸田市「戸田ボートコース」
第90回審判員研修会 (B級審判員認定試験併催)	10月	埼玉県戸田市「戸田ボートコース」
NT0研修会	未定	未定

(5) ルール整備に関する事業

- ・本会創設100周年記念事業として、一昨年度発足した競漕規則改定プロジェクトにおいて、競漕規則をFISAルールをベースに、かつアスリートファーストに立脚した、新しい競漕規則を作成する。
- ・新規規則の施行は2020年4月を目標とする。

2. 強化本部関係事業

(1) 選手強化に関する事業

今年度は、世界選手権における2020東京オリンピック大会の出場権獲得を最重要課題として以下の基本方針並び基本計画により、選手強化事業を実施する。

①2019シーズン基本方針

競技力、普及、ガバナンスの全ての面で世界の強豪国となり、世界レベルでの大会におけるFinal A進出クルーを輩出し、究極の目標であるオリンピックでのメダル獲得を実現する。

②2019 基本戦略

1) 強化メソッドの継続による国際競技力の向上

- ・年間通したトレーニングメソッドの確実な実施
- ・継続的トレーニングの実施

2) 個人レベルの向上とチームスピリットの醸成

- ・年間を通してのロングボート（シングルスカル・ペア以外のチームボート）におけるトレーニング

- ・個人のパフォーマンスにおける世界レベルへの到達
- 3) オープンカテゴリーの強化
- 4) 一貫強化システムの深化
 - ・タレント・U16・U23・シニアの一貫した強化システム
 - ・JOC エリートアカデミー、J-STAR プロジェクトの有効活用
- 5) 組織力の強化
 - ・関係諸団体との連携強化
 - ・パラローイングとの連携
 - ・医科学委員会・アスリート委員会との連携
 - ・ボート界における透明性や公平・公正性の向上
 - ・ドーピングのないボート界の維持
 - ・選考システムの深化
 - ・コーチの育成

③ナショナルチーム（シニア）強化合宿及び海外遠征

・国内強化合宿計画

実施月	事業名	開催予定地
4月	強化合宿	兵庫県・城崎
6月	強化合宿	岩手県・田瀬湖
11月	強化合宿	埼玉県・戸田
12月	強化合宿	埼玉県・戸田
1月	強化合宿	長野県・木島平
2月	強化合宿	埼玉県・戸田
3月	強化合宿	埼玉県・戸田

・国際大会派遣及び海外強化合宿計画

時期	事業名	開催地
5月	ワールドカップⅠ	ブルガリア
7月	ワールドカップⅢ	オランダ
7月～8月	強化合宿	フランス・ベレー
8月	強化合宿	フランス・エギュベレット
8月～9月	世界選手権	オーストリア・リンツ

(2) タレント発掘、及び競技者育成に関する事業

今年度も、JSCくじ助成事業として、以下の事業を実施する。

①タレント発掘活動（トライアウト）の実施

- ・今年度も全国各地のタレントコンソーシアムとの連携を深め、常設型、マシンローイング連携型および地域タレント連携型として、また、他 NF 連携型として推進する。

②タレント育成合宿

- ・今年度も育成環境を U19 カテゴリーから U21 及び U23 カテゴリーまで拡大し、長期的

ビジョンによるタレント育成を行う。

③U21・U23育成合宿の実施及び環境の整備

- ・タレント発掘活動により見出されたタレント発掘選手が、U21/U23カテゴリーに移行するため、合宿等による強化を図るとともに、U21・U23世代のためのコーチ・スタッフを配置し、育成環境を整える。
- ・メダルポテンシャルアスリート（U23・U21）国内育成合宿計画

実施月	事業名	開催予定地	対象選手
4月	育成合宿	兵庫県・城崎	U23・U21
6月	育成合宿	岩手県・田瀬湖	U23・U21
7月	育成合宿	岩手県・田瀬湖	U23・U21
11月	育成合宿	埼玉県・戸田	U23・U21
12月	育成合宿	長崎県・諫早	U23・U21
1月	育成合宿	長野県・木島平	U23・U21
1月	育成合宿	埼玉県・戸田	U23・U21

④JOCエリートアカデミー事業への参画

- ・今年度は新たに1名が選任され、アカデミー生（EA）計5名の布陣となるとともに、以下の事業を実施する。

実施月	実施事業	開催地	対象選手
通年	国内ローカルレガッタ	国内	EA
4月	フランス合宿	フランス・エギュベレット	EA
5月	ドイツ国際ジュニアレガッタ	ドイツ・ミュンヘン	EA
6月	フランス選手権	フランス・リボンヌ	EA
7月	SoroInternationalRegatta	デンマーク・ソーレ	EA
2月	オーストラリアキャンプ	オーストラリア・メルボルン	EA
通年	国内育成合宿	国内	EA

⑤海外遠征計画

派遣月	大会名及び合宿名	開催地	対象選手
4月～5月	ドイツ国際ジュニアレガッタ	ドイツ・ミュンヘン	タレントA
5月～7月	フランス選手権	フランス・エギュベレット	U21・タレント
6月～7月	SoroInternationalRegatta	デンマーク・ソーレ	タレントA
7月	U23世界選手権	アメリカ・サラソタ	U23
9月	香港レガッタ	香港・沙田	タレントA
2月	香港キャンプ	香港・沙田	MPA・育成
2月	オーストラリアキャンプ	オーストラリア・メルボルン	タレントA
3月	SydneyInternationalRegatta	オーストラリア・シドニー	タレントA・EA

(3) 医科学に関する事業

①競技用具の審査と検定に関する事業

- ・本会の規格艇登録規定に基づき、規格艇の審査、及び原簿登録に係わる業務を行う。
- ・第74回国民体育大会、第67回全国高等学校選手権、及び第31回全国高等学校選抜大会において競漕艇の計測業務を行う。

②メディカルサポートに関する事業

- ・海の森水上競技場で行われる、6月の海の森水上競技場完成記念レガッタ、および8月の2019世界ジュニア選手権大会に医師並びに看護師を派遣し、救急医事業務を行う。
- ・戸田ボートコースにおける全日本選手権、全日本社会人選手権、全日本大学選手権及び全日本新人選手権に医師並びに看護師を派遣し、救急医事業務を行う。
- ・国内強化合宿、海外強化合宿及び海外大会へ、医師並びにトレーナーが帯同し、選手のコンデショニング維持、改善及び指導を行う。
- ・コンデショニングに関する知識を普及するため、指導者、選手を対象に随時講習会を開催し、またホームページを利用した広報活動を行う。

③ドーピングに関する事業

昨年度新設したアンチ・ドーピング委員会活動を更に強化する為、次の活動を行う。

- ・FISA及びJADAと連動し、日本で開催される2019世界ジュニア選手権大会においてドーピング検査を行う。
- ・JADAの委託事業として、国内大会においてドーピング検査を行う。
- ・JADAと連携し、競技団体及び選手を対象とした、アンチ・ドーピングに関する普及啓発のための講習会を開催する。

(4) 指導者育成に関する事業

①公認スポーツ指導者養成事業

(公財)日本スポーツ協会公認コーチ養成事業による公認コーチ1及び3養成講習会について、今年度は以下の日程で講習会を開催する。

講習会名	開催日程	開催場所
公認コーチ3養成講習会	前期：11/2（土）～4（月）	埼玉県・戸田市
	後期：1/11（土）～13（月）	
公認コーチ1養成講習会	前期：6/29（土）～30（日）	静岡県・浜松市
	後期：11/30（土）～12/1（日）	
資格更新義務研修	未定	中日本レガッタ
	未定	朝日レガッタ
	日程未定	・高体連3地区 (東地区・中地区・西地区) ・都道府県体協主催研修 ・都道府県ボート協会主催研修

(5) アスリートに関する事業

次の事業を継続して行う

- ① トップアスリートの意見を集約し協会諸事業に反映する事業
 - ・各委員会より適宜諮問される諸事項についてアスリートの意見を集約し、アスリートファースト並びにアスリートの環境改善につながる提言を積極的に行う。
 - ・シニア・U23の強化活動についてフィードバックをとりまとめる。
- ② 本会主催諸事業に協力しボート競技の普及と発展に貢献する事業
 - ・ボート競技並びにアスリートの地位向上のため、2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた広報活動や講演活動およびボート競技普及のための活動に積極的に参画する。
- ③ 女性アスリートの競技環境改善のための事業
 - ・女性アスリートの意見を集約し、競技環境改善につなげるサポートを行う。
- ④ トップアスリートのセカンドライフの支援のための事業
 - ・トップアスリートが引退後も継続的にボート競技や協会の活動に携われるようサポートを行う。

3. 普及本部関係事業

(1) 普及に関する事業

- ① 全国ボート場所在市町村協議会との連携
 - ・「ボート競技普及プロジェクト」での検討に基づき、「全国ボート場所在市町村協議会」加盟の各水域をはじめ、全国主要水域のボート普及環境の整備に関する活動を行う。また、2020東京オリンピック大会の事前キャンプ誘致についても連携して推進して行く。
- ② 関連団体の活動支援
 - ・中学生及び高校生のボート競技振興を図るため、全国中学校ボート連盟及び全国高等学校体育連盟ボート専門部の活動に対し、助成金交付と支援を行う。
- ③ オリンピアンとの会活動
 - ・JSC助成事業として、ボート競技普及を目的に「オリンピアンとエルゴファイト」と名称を変更し、9月に北海道・小樽、茨戸で、11月に宮崎県にて実施する。
 - ・同じく、オリンピアンによる講演会を実施する。

(2) 広報に関する事業

- ① 協会広報誌「ROWING」の発行
 - ・今年度は、本会機関紙「ROWING」を6回発行する。
- ② 本会ホームページ
 - ・タイムリーな報告と強化関連を中心に掲載情報量のアップを図るとともに、新たに「2019世界ジュニア選手権」のウェブサイトを立ち上げる。
- ③ 報道機関、マスコミへの対応・協力
 - ・東京運動記者クラブをはじめ報道機関、出版業界との関係を密にし、報道を通じて本会の活動の広報に取り組む目的で、メディア懇談会を行う。
 - ・今年度も積極的に情報ならびに画像・映像を提供する。
 - ・2019世界ジュニア選手権大会及び2020東京オリンピック・パラリンピック大会関連取材に積極的に協力し、ボート競技の普及と発展に寄与する。

④選手関係者・保護者・OB会への対応・協力

- ・現在、広報委員会の情報発信用メーリングリストに約500人が登録しているが、今年度もさらなる登録者増を実現するため、コンテンツの充実に努めると共に大会パンフレットに告知したり、ポスターを作ったりする。また、レース結果などをタイミング良くリリースをすることで、さらなる興味を持ってもらうことを目指す。

⑤写真コンテスト「ボートのある風景」の実施

- ・ボートならびに漕艇場水域の広報活動として、今年度も日本スポーツプレス協会会長の水谷章人氏を審査委員長として第3回コンテストを実施し、ボートを広く見てもらい、ファンになってもらうことを目指す。

(3) 安全環境に関する事業

①日本ボート協会認定セーフティアドバイザー研修事業

本会認定セーフティアドバイザー研修については、今年度は以下の日程で研修会を開催する。なお、本研修は各水域や団体における安全責任者も受講の対象とする。

事業名	開催日程	開催場所
セーフティアドバイザー研修	1月	埼玉県・戸田市
セーフティアドバイザー研修	未定	福岡県

②環境方針の策定

ボート競技を通じて環境の保全に取り組み、再生可能なスポーツ環境の実現に貢献することを目的として「環境方針」を策定する。

4. パラローイング本部関係事業

今年度は以下の基本方針並び基本計画により、選手強化事業を実施する。

① 2019シーズン基本方針

- ・2020東京パラリンピック大会までに日本代表クルーの競技力について、パラリンピック出場権獲得の目安となる世界10位以内を目標とする。
- ・上記達成の為、心・技・体の観点で適切な指導を行うとともに練習環境の整備・支援を行う。
- ・日本代表の競技力向上を通じ、パラローイングの普及と社会的地位の向上に努める。

② 基本計画

- ・各都道府県協会へ協力をお願いし選手の活動をサポートする体制を整備するとともに、パラ選手発掘を積極的に行う。
- ・国際大会への参加の機会を増やし国際競争力を強化する。
- ・健常者コーチが障がい者を指導できるよう指導者養成会を実施する。
 - ・女子選手の精神的身体的支援の為、女性スタッフの増員を図る
 - ・国内選手強化合宿において医科学情報サポートスタッフを派遣し、栄養・心理・フィジカルサポート等を行う。

③国内選手強化合宿計画

実施月	事業名	開催予定地	対象選手
4月	4月強化合宿	岐阜県・川辺町	強化指定選手
5月	5月強化合宿	滋賀県・大津市	強化指定選手
6月	6月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
7月	7月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
8月	8月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
9月	9月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
10月	10月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
12月	12月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
1月	1月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
2月	2月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手
3月	3月強化合宿	神奈川県・相模原市	強化指定選手

④海外派遣計画

派遣期間	大会名	開催地
5/15 (水)～20 (月)	イタリア・インター ナショナルレガッタ	イタリア・ガビラーテ
8/21 (水)～9/2 (月)	世界選手権	オーストリア・リンツ
10/21 (月)～28 (月)	アジア選手権	韓国・忠州

5. 管理本部関係事業

(1) 国際関係事業

①国際審判派遣

今年度は以下の国際大会に審判員を派遣する。

大会名	開催期日	会場地・開催国	審判員
ワールドカップⅢ戦	7/12(金)～14 (日)	オランダ・Rotterdam	松田雅彦 (神奈川)
世界ジュニア選手権	8/7 (水)～11 (日)	日本・Tokyo	岩尾弘敏 (北海道)
世界選手権	8/25 (日)～9/1 (日)	オーストリア・Linz	栗山俊久 (東京)
世界マスターズレガッタ	9/12 (木)～15 (日)	ハンガリー・Velence	塚田秀樹 (京都)
世界コースタル選手権	11/1 (金)～3日 (日)	香港・Hongkong	千田隆夫 (岐阜)

※ARF主催大会への派遣については決定次第派遣する。

②日韓交流事業

・今年度は、日本選手団を韓国に派遣する。派遣大会等は今後決定する。

③FISA及びARF総会への代表者派遣

・各連盟の事業方針、各国動向等最新情報を把握するため下記総会へ代表者を派遣する。

会議名	会議日程	開催国・会場地
国際ボート連盟 (FISA) 通常総会	8月	オーストリア・Linz
アジアボート連盟 (ARF) 総会	10月	韓国・忠州

④JOC国際人養成アカデミーへの受講者派遣

- ・将来国際ステージで活躍できる人材育成を目的に、受講生1名を派遣する予定。

⑤ARF会長国であるタイ国ボート・カヌー協会と協力関係を築き、近い将来アジアマスターズレガッタの愛知池への誘致活動に協力・支援する。

(2) 財政基盤強化に関する事業

①助成金について

- ・日本オリンピック委員会(JOC)、日本スポーツ振興センター(JSC)、戸田競艇事業者及びその他団体に対し当協会の実施諸事業の目的及び重要性について理解を求め、出来る限りの支援をお願いする。

②強化募金について

- ・6年目を迎える今年度も、引き続き企業・団体並びに個人に対し、選手強化事業の目的及び重要性について理解を求め、出来る限りの支援をお願いする。

③2019世界ジュニア選手権大会開催資金確保

- ・本大会の収入計画に沿った、JSC助成金、スポンサー協賛金、及び寄付金の状況を注視し、資金繰り並びに引当金等の活用を行う。

④収益事業の見直しについて

- ・2020年以降に向け、既存収益事業の見直しとともに、公益法人としての事業継続・発展となる新たな収益確保について検討を行う。

(3) 2020年に向けた事業

①海の森水上競技場完成記念レガッタの実施

- ・本年5月末竣工予定の「海の森水上競技場」の完成に合わせ、東京都が行う完成記念式典に併せ、本会主催による完成記念レガッタを開催する。
- ・英国より、オックスフォード大学並びにケンブリッジ大学クルーを招き、国内の幅広い世代のクルーの参加を見込んでいる。
- ・現在実行員会を組織し大学OB会有志の協力によりその準備に当たっている。

②2019世界ジュニア選手権大会の開催

- ・2020東京オリンピック・パラリンピック大会のテストイベントとして、海の森水上競技場において、本会並びに東京都ボート協会主管で開催する。
- ・大会日程は8/4(日)～8/11(日)、約50ヶ国600名の選手の参加が見込まれている。
- ・総事業規模は約5億円超が見込まれ、2005年の世界選手権に次ぐ国際大会開催となる。

③2020東京オリンピック・パラリンピック大会関係事業

- ・昨年に引き続き、2020組織委員会にスポーツマネージャーを派遣し、オリンピック・パラリンピックのボート競技の成功に向け、組織委員会並びに関係団体と連携を継続する。

④創立100周年記念事業

- ・2020年に創設100周年を迎えるにあたり、創立100周年記念プロジェクトを中心に、記念式典、記念誌の編集、競漕規則改定等の記念事業の準備にあたる。

⑤JARA新ビジョン策定プロジェクトの活動

- ・JARAポスト100周年として、協会の全体的中長期ビジョンを策定する目的で、プロジェクト活動を推進する。

(4) ガバナンス強化に関する事業

加盟上部団体より、本会のガバナンス並びにコンプライアンス体制及び制度については大きな問題は無いとの評価を得ているが、より一層の体制強化並びに徹底を図る。

①公益法人に関する業務の推進

- ・公益法人のもとで協会運営を行うために、必要な各種規定類のさらなる整備をするとともに、その他の関連業務を継続して実施する。

②コンプライアンス、及びインテグリティの徹底

- ・強化の現場におけるコンプライアンス及びインテグリティ教育について、JOC等主催の研修会並びに講習会参加による啓蒙活動を継続する。
- ・昨年度発足した「協会弁護士による研修会」制度を所属団体等に働きかけ活用を促す。

以上